

2024.2.22

「教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進」事業

『専門学校教員概論』のテキスト開発の方向性について

2023 年度に実施した専門学校関係団体および専門学校・教員へのインタビュー調査の結果から、専門学校の新任教員が自らの職業に誇りを持ち、その後のキャリアを主体的に形成していく上で、「専門学校教員」という職業が果たしている社会的機能・意義の理解や、専門学校教員のキャリア形成イメージを深めるための機会が不足していることが明らかになった。次年度以降、本格的に着手する『専門学校教員概論』のテキスト開発においては、上記の問題点の解消を見据えた執筆を進めていく。2023 年度末時点での『専門学校教員概論』のテキスト開発に関わる概要は以下の通りである。

『専門学校教員概論』の概要

(1) 対象

専門学校教員、特に新任教員を対象とする

(2) テキストの形式について

- ・一人でも学習できるように読みやすい内容にすると共に、集合研修等での活用を想定した内容構成にする。
- ・学習者が所属する自治体や学校が展開する研修内容との兼ね合いから、学習内容を選択的に学ぶ可能性があることを想定してテキストを執筆する。
(いくつかの章を部分的に選択し、学習するケースを想定して内容を執筆する)
- ・学校規模や立地によって対面形式の研修を受けることが難しい教員が存在することを考慮し、オンライン形式での研修実施を想定したテキストにする

(3) 章立て

【研修想定時間：1.5 時間／1 章×4 コマ】

第1部 専門学校教員になるということ

第1章 専門学校教員になる、ってどういうこと

第2章 専門学校教員とは何か—その特徴

第3章 専門学校教員になぜなったのか、どのような教員になっ
ていくのか—多様なキャリアモデル

第4章 専門学校教員のアイデンティティ

第2部 専門学校教員のキャリア形成と必要な資質能力

【研修想定時間：1 時間／1 章×2 コマ】

第5章 専門学校教員としての業務と必要な資質能力の概要

第6章 専門学校教員にもとめられる教育専門性と職業専門性について

(4) 各章の内容イメージ・執筆の方向性

第1部 専門学校教員になるということ

第1章 専門学校教員になる、ってどういうこと

読者対象である新人教員に本テキストを読み進めてもらうための導入部分。専門学校教員に関する素朴な問いかけから入り、なぜ本概論を学ぶ必要があるか、専門学校教員について何を理解しており、何が理解できていないか、まずは読者に専門学校教員という職業に対する自己認識や捉え方の偏りに気づいてもらうことを目的とする。

第2章 専門学校教員とは何か—その特徴

専門学校教員という職業が、いつ、どのように社会の中で位置づけられてきたのか。職業の歴史的変遷や、専門学校教育が果たしてきた役割・社会的機能（就職支援に留まらない、目指す職業に対する動機づけを含む、目標設定支援や学習する意欲の回復等）についての簡単な解説を行う。専門学校教育は、社会・業界から継続的に人材育成に対する期待が寄せられてきている一方、それらの教育を支えてきた教員像は非常に見えにくい状態にある。そうした背景について、他の学校種の教員との比較を行いな

がら、専門学校教員という職業ならではの特徴について理解を深める。

第3章 専門学校教員になぜなったのか、どのような教員に

なっていくのか—多様なキャリアモデル

どのようなキャリアを積み重ねてきた人が、どのような目的で、専門学校教員という職に就いているのか。2023年度実施した専門学校教員を対象としたインタビュー調査や専門学校教員に関する先行研究によれば、「興味関心を持ち続けてきた業界・分野との接点を維持するため」「子育て・介護などライフキャリア上の役割遂行との両立が必要であるため」など、様々な目的で専門学校教員という職業への参入を決めた教員の存在が明らかになっている。こうした多様な参入目的をもった教員の存在を知ることによって、自身の職業への向き合い方や同僚として働く教員への理解や支援の必要性などを知る。

第4章 専門学校教員のアイデンティティ

第3章で解説した専門学校教員への多様な参入過程に対する理解の深掘り。入職時点で専門学校「教員になる」ことに積極的な意義を見出せているわけではないが、生徒と対峙する時間を重ねる中で、徐々に教員としてのアイデンティティを形成していく傾向が見られるのが専門学校教員の1つの特徴である。そうした専門学校教員に「なる」プロセスについて、インタビュー調査から得られた現役の専門学校教員の「語り」を交えながら、具体的にどのような出来事をきっかけに専門学校教員という職業へのやりがいや意義を見出していったのか。教員の複線的な成長過程を伝えることで、自身が目指す教員のキャリアモデル・コースを検討する。

第2部 専門学校教員のキャリア形成と必要な資質能力

第5章 専門学校教員としての業務と必要な資質能力の概要

専門学校教員の業務の主な種類（教授・学習支援を行う専門人材としての業

務【教育専門性】、業界に詳しい専門人材としての業務【職業専門性】、学校法人・企業の社員としての業務等）について紹介するとともに、そこで求められる資質能力などの概観を理解する。その際、学校規模や分野によって求められる業務や能力の内容・水準が異なること、前職キャリアによって、入職後に目指す能力開発の課題や方向性が異なることなどにも触れる。

第6章 専門学校教員にもとめられる教育専門性と職業専門性について

【教育専門性】と【職業専門性】に関する内容理解を深める。職場の教育担当（OJT,採用担当）の経験を備えていたとしても、専門学校で教壇に立ち、学生に指導することとは大きな異なりがある（すべての学生の成長を、教育活動を通じて支援する必要がある）。この章では、陥りがちな新人教員の「失敗ケース」などを紹介しながら、職業現場で「非言語」で通用していたことを言語化し、学生に明示的に伝達していくことの重要性や、カリキュラムや授業設計に必要な知識など教員としての業務に携わる上での専門性について紹介する。加えて、業界職業人としての専門性についても触れる。教員歴が長くなればなるほど、業界の職業人としての経験やスキルとは時間的な距離が生まれ、定期的にアップデートを図らなければ職業専門性が低下するというジレンマに陥るのが専門学校教員のキャリア形成における危機の1つである。実際に職業専門性を維持・向上が難しいことにストレスを抱え、元の業界に戻っていくケースも存在しており、教員としてのキャリアを継続していく上での、職業専門性の維持・向上の工夫や陥りがちなキャリア危機への対応の仕方などを学ぶ。